ᅩᄾᆘᆜ	工業高等	等專門学	校 開講年度 令	和05年度 (2	2023年度)	授	愛業科目	電子回	BBⅡA	
科目基礎	楚情報									
科目番号		8			科目区分		専門/必	修		
授業形態		講義			単位の種別と	単位数	履修単位	: 1		
開設学科		電気電	3子システム工学科	対象学年	対象学年		4			
開設期		前期		週時間数 2						
教科書/教	材	篠田 月	主司、和泉 勲 著、「わかり	つやすい電子回	各」、コロナ社、2016年					
担当教員		島宗	羊介							
到達目標	票									
この科目に 目標、評価 ①負帰還地 ②作動増幅 ③電力増幅	ま長岡高専 画の重み、 曽幅回路の 福回路と演 福回路の動	の教育目標 学習・教育 動作原理を 算増幅器に 作原理を理	Electronic Circuits IIA) 原の(D)と主体的に関わる。 育目標との関連の順で次にえ 理解する。25%(d1) こついて動作原理を理解する 理解する。25%(d1) になる。25%(d1)	この科目の到道 元す。	Iは凹と読み替え 達目標と、各到	達目標と) 長岡高専の	学習・教	育到達目標との関連を、到	
ıı → `ı	Lw /									
ルーブリ	ノツク	1,7		J#2# 45 + 2 702			5 7 D + 1 - 2 1		+ 70/± 1 - 2/11 - 2 C/C	
		<u> </u>	型想的な到達レベルの目安	標準的な到達	レベルの目安	最低限0	D到達レベ	レの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	L	を	負帰還増幅回路の動作原理 記詳細に理解し、説明でき る。	負帰還増幅回 を理解する。	路の動作原理	負帰還増幅回路の動作原 を概ね理解する。		動作原理	左記に達していない。	
評価項目2			宇動増幅回路と演算増幅器 こついて動作原理を詳細に 理解し、説明できる。		と演算増幅器 原理を理解す	作動増幅回路と演算増幅器 について動作原理を概ね理 解する。			左記に達していない。	
評価項目3			電力増幅回路の動作原理を 詳細に理解し、説明できる	電力増幅回路 理解する。	の動作原理を	電力増幅回路の動作原理を 概ね理解する。		作原理を	左記に達していない。	
評価項目4			発振回路の動作原理を詳細 二理解し、説明できる。	発振回路の動する。	作原理を理解	発振回路の動作原理を理解する。		里を概ね	左記に達していない。	
学科の至	引達目標「	項目との	関係							
教育方法	 法等									
概要		た、本 方法に 〇関連	を前提とし、負帰還増幅に 科目は企業で大規模集積に ついて講義形式で授業を行 する科目:電気回路演習(i	回路(LSI)のフロ テうものである。]セス開発に従り。	事した教員	動か、その	経験を活力		
授業の進& 注意点	め方・方法	た、本に 方 で で に で に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行する科目:電気回路演習(i 回路 I I A 」を学習するうで、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できる。	回路(LSI)のフロテラものである。 前年度履修)、「 うえで、電気回 できちんと理解] セス開発に従い。 電子回路 I (前 路とその解析方 していることが	事した教師 年度履修 法が基礎 必要とな	意か、その意)、電子回 的知識とし る。本科目	経験を活た 路 I I B 	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予定	
授業の進& 注意点 授業の原	属性・履信	た、 大法は 電子おいの 「」しるの区 修上の区	科目は企業で大規模集積にこれて講義形式で授業を行 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 であるが、 である。 である。	回路(LSI)のフロテラものである。 前年度履修)、「 うえで、電気回 できちんと理解	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大により	事した教覧 年度履修 法が基礎 必要となる緊急事	意か、その意)、電子回 的知識とし る。本科目	経験を活力	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予定 応じ遠隔授業として実施を	
授業の進& 注意点 授業の原		た、 大法は 電子おいの 「」しるの区 修上の区	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行する科目:電気回路演習(i 回路 I I A 」を学習するうで、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できる。	回路(LSI)のフロテラものである。 前年度履修)、「 うえで、電気回 できちんと理解] セス開発に従い。 電子回路 I (前 路とその解析方 していることが	事した教覧 年度履修 法が基礎 必要となる緊急事	意か、その意)、電子回 的知識とし る。本科目	経験を活力 旧路IIB いて必要と に、必要に	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予定	
受業の進& 注意点 授業の原 図 アクテ	<u> </u>	た、 大法は 電子おいの 「」しるの区 修上の区	科目は企業で大規模集積にこれて講義形式で授業を行 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 であるが、 である。 である。	回路(LSI)のフロテラものである。 前年度履修)、「 うえで、電気回 できちんと理解	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大により	事した教覧 年度履修 法が基礎 必要となる緊急事	意か、その意)、電子回 的知識とし る。本科目	経験を活力 旧路IIB いて必要と に、必要に	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予定 応じ遠隔授業として実施を	
受業の進& 主意点 受業の原 2 アクテ	<u> </u>	た、 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 で で で で で で で で で で の で で で の で で の で の の で の の の の の の の の の の の の の	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行立する科目:電気回路演習(iでである科目・電気回路演習では、でででは、ででであるが、新型コロッである。	回路(LSI)のフロテラものである。 前年度履修)、「 うえで、電気回 できちんと理解	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大により	事した教師 年度履修 法が基礎な るる緊急事	(すか、その))、電子 <u>に</u> 前知識とし でる。本科 態において	経験を活放 I路IIB バス必要と はは本来、 に、必要に	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予定 応じ遠隔授業として実施を	
受業の進& 主意点 受業の原 図 アクテ	<u> </u>	た、 大法は 電子おいの 「」しるの区 修上の区	科目は企業で大規模集積にこれて講義形式で授業を行 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 であるが、 である。 である。	回路(LSI)のフロテラものである。 前年度履修)、「 うえで、電気回 できちんと理解	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大により	事した教育 年度履修 法が要と 法が要と事 対応	意か、その。)、電子回 的知識としる。本科目態において	経験を活放日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予算 応じ遠隔授業として実施を 務経験のある教員による授	
受業の進& 主意点 受業の原 アクテ	<u> </u>	た、 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 で で で で で で で で で で の で で で の で で の で の の で の の の の の の の の の の の の の	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行立する科目:電気回路演習(iでである科目・電気回路演習では、でででは、ででであるが、新型コロッである。	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いた。 でいた でいました でいました でいました いっぱい でいまい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい か	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大により	事した教育 年度履修 法が要と 法が要と事 対応	意か、その。)、電子回 的知識としる。本科目態において	経験を活放日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予定 応じ遠隔授業として実施を	
受業の進& 主意点 受業の原 アクテ	<u> </u>	た、 た、 た、 た、 た、 に、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	科目は企業で大規模集積IE ついて講義形式で授業を行 でする科目:電気回路演習(i で回路 I I A J を学習する でが「電気回路 I J の内容を いたものであるが、新型コロッである。 「分 □ ICT 利用 □ 授業内容	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大により	事した教修 年度 を 基礎な事 が応	(す) 、その(す) 、電子回(さ) 、電子回(さ) がいる(さ) がいる(ご) がいる(ご	経験を活力 は I B I B I I B I	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予算 応じ遠隔授業として実施を 務経験のある教員による授	
受業の進& 主意点 受業の原 アクテ	<u> </u>	た方O関 電子よいの M 上 グ 週 1 週 1 週	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行動では、 「中国路IIA」を学習するでは、 「中国路IIA」を学習するでは、 「中国第一日本のであるが、新型コロッである。 「一日本のであるが、新型コロッである。 「一日本のであるが、新型コロッである。」 「日本のであるが、新型コロッである。」	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大により	事 年度 履修 基礎な事 がっこう はん	●か、その。)、電子回 が、電子回 がの知識とし である。本科目 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	経験を活放 I I B I B I I B	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予定応じ遠隔授業として実施を 務経験のある教員による授	
受業の進& 主意点 受業の原 アクテ	<u> </u>	た 下 下 下 下 下 下 下 で に に で で に で で で で で で で で で で で で で	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行車する科目:電気回路演習(iを可して I A J を学習するうであるが、新型コロッである。	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事した 程 年度 を は必要繁 が要急 がある がある がある がある がある がある がなる がなる がなる がなる がなる がる りがる りがる りがる りがる りがる りがる りがる	動か、その。)、電子回答の知識としている。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	経験を活た I路IIB JUST OF A SERVICE AND A SERV	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予定 応じ遠隔授業として実施。 務経験のある教員による授 の特徴と等価回路を説明できる。	
受業の進& 主意点 受業の原 アクテ	<u> </u>	た方O関 「」しる の 上グ り 週 1週 2週 3週	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行連する科目:電気回路演習(iでである)にでであるが、新型コロッである。 「ク」 ICT 利用 授業内容 トランジスタ増幅回路の 負帰還増幅回路1 負帰還増幅回路2	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事 年 度 基 と が要緊 週 バる 負 見 差 資 負 差 基 り	動か、その。)、電子回 的知識とし 的の。本科で での到達目が での可達目を でである。 での可達目を でである。 での可達目を でである。 での可達目を でである。 での可達目を でである。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	経験を活た I B I B I I B	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予定 応じ遠隔授業として実施を 務経験のある教員による授 の特徴と等価回路を説明できる。 型が説明できる。	
受業の進& 主意点 受業の原 2 アクテ	属性・履(・ィブラー: 画	た方() により では、 本に連進 では、 大 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行連する科目:電気回路演習(iでであるを)をであるが、新型コロッである。	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事年 法必る 付 週バる負債 週バる負債 差演 資 200 月 200 月 200 月 200 月 200 月 200 日 200	動か、そのの では、	経験を活加 IBI	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予施 応じ遠隔授業として実施を 務経験のある教員による授 の特徴と等価回路を説明できる。 理が説明できる。 運が説明できる。	
受業の進& 主意点 受業の原 2 アクテ	属性・履(・ィブラー: 画	た方O 「」しる の 上 グ り 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行意する科目:電気回路演習(iをする科目:電気回路演習(iをする科目:電気回路 I J の内容がたものであるが、新型コロッである。 「ク ICT 利用 授業内容 トランジスタ増幅回路の 負帰還増幅回路1 負帰還増幅回路2 差動増幅回路 演算増幅器1	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事年 法必る 内 週バる負負差演算き負ご 数修 環状 選送 算 の に で で	うか、その。)、電子回答の知識としている。この到達目をできません。この可達目をできません。この可能にはいる。この可能には、この可能にはいる。この可能にはいる。この可能にはいる。この可能にはいる。この可能にはいる。この可能にはいる。この可能には、この可能にはいる。この可能には、この可能にはいる。この可能には、この可能にはいる。この可能にはは、この可能にはいる。この可能にはいる。。この可能にはは、この可能にはは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	経験を活用 B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I B I I B	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回覧 面接授業として実施を予算 応じ遠隔授業として実施する 務経験のある教員による授 型が説明できる。 型が説明できる。 説明できる。	
受業の進を 注意点 受業の原 アクテ 受業計画	属性・履(・ィブラー: 画	た方O 「」しる の 上グ 週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	科目は企業で大規模集積に で大規模集積に では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事年 法必る 内 週バる負負差演算き負 数修 環境等 で で	でか、電子回り、そのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	経験を活用 B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I I B I B I I B	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予覧 応じ遠隔授業として実施を 務経験のある教員による授 野説明できる。 対説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 関質回路の動作原理が説明	
受業の進を 注意点 受業の原 アクテ 受業計画	属性・履(・ィブラー: 画	た方O 「」しる の 上グ 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行意する科目:電気回路演習(i で	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事年 法必る 内 し度 が要緊 心 週バる負負差演演き負こ演電教修 破び事 ごイ。帰帰動算算る。 で の の	意か、電子回りでは、 では、電子回りでは、 では、電子回りでは、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、できますが、できます。 では、できますが、できますが、 では、できますが、できますが、 では、できますが、できますが、 では、できますが、できますが、 では、できますが、できますが、 では、できますが、できますが、 では、できますが、できますが、 では、できますが、できますが、 できますが、できますが、できますが、 できますが、できますが、できますが、できますが、 できますが、できますが、できますが、 できますが、できますが、できますが、できますが、できますが、できますが、できますが、できますが、できますが、 できますが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できま	経験I I B With a column and colu	かし、電子回路の特性や設(当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施を予算 応じ遠隔授業として実施を予算 応じ遠隔授業として実施である。 一般をいかできる。 一般をいる。 「説明できる。」 「説明できる。 「説明できる。」 「説明できる。	
受業の進を 注意点 受業の原 アクテ 受業計画	属性・履(・ィブラー: 画	た方〇 「」しる の 上グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行意する科目:電気回路演習(iを可して	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事年 法必る 対 し度 が要緊 応 週バる負負差演演き負こ演電電教修 概な事 ごイ。帰帰過 単 均。 で で	意か、電子回りでは、 では、電子ののでは、 では、	経 は に は に に に に に に に に に に に に に	かし、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回覧面接授業として実施を予算点応じ遠隔授業として実施を予算点応じ遠隔授業として実施で 務経験のある教員による授助できる。 理が説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。	
受業の進を 注意点 受業の原 アクテ 受業計画	属性・履(・ィブラー: 画	た方〇 「」しる D	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行さる科目:電気回路演習(iを可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事年 法必る 内 週バる負負差演演き負こ演電電発 変化 週バる負負差演演き負こ演電電発 製修 一 みり 一 これ。帰場場ははは、 場別 はな事 これ。 これ。 場別 はな事 これ。 これ。 場別 はな事 これ。 これ。 場別 はなり はなり はなり <td>である。 である。 である。 である。 での一般では、 である。 での一般では、 である。 での一般では、 である。 では、 では、</td> <td>経 は で は で に で に で に で に で に で に に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に</td> <td>では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) は、なるため、「基礎電気回路面接授業として実施である。 一部では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で</td>	である。 である。 である。 である。 での一般では、 である。 での一般では、 である。 での一般では、 である。 では、	経 は で は で に で に で に で に で に で に に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に	では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) は、なるため、「基礎電気回路面接授業として実施である。 一部では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	
受業の進を 主意点 受業の原 図 アクテ 受業計画	属性・履(・ィブラー: 画	た方〇 「」しる の 上グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行意する科目:電気回路演習(iを可して	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事年 法必る 内 週バる負負差演演き負こ演電電発発 変化 週バる負角差演演き負こ演電電発発 製修 一 みり 一 これ。帰還対算る。 現状 はいます これ。 これ。 場別 はいます これ。 はいます これ。 これ。 日 これ。	である。 である。 である。 である。 である。 での一のでは、 である。 での一のでは、 では、 で	経 路 I I I I I I I I I I I I I	では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) は、なるため、「基礎電気回路面接授業として実施である。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	
受業の進を 主意点 受業の原 図 アクテ 受業計画	属性・履(・ィブラー: 画	た方〇 「」しる D	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行さる科目:電気回路演習(iを可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を可容を	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事年 法必る 内 し度 が要緊 週バる負負差演演き負こ演電電発発電で表 製修 では、場所、関・関・関・関・関・関・関・関・関・関・関・関・関・関・関・関・関・関・関・	で	経 路 I I I I I I I I I I I I I	では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施で 施じ遠隔授業として実施で の特徴と等価回路を説明できる。 理が説明できる。 説明できる。 説明できる。 対策明できる。 対策明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。	
受業の進を 主意点 受業の原 図 アクテ 受業計画	属性・履(・イブラー <u>-</u> 画 1stQ	た方〇 「」しる D	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業を行意する科目:電気回路演習(impact of the state of the stat	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事年 法必る 内 し度 が要緊 週バる負負差演演音負ご演電電発発電で電で表 製修 で で で で で で で で で で で が で の が の は で で <td>意か、電子回りでは、 では、電子では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、</td> <td>経 路 I I I I I I I I I I I I I</td> <td>では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) は、なるため、「基礎電気回路面接授業として実施である。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で</td>	意か、電子回りでは、 では、電子では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、	経 路 I I I I I I I I I I I I I	では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) は、なるため、「基礎電気回路面接授業として実施である。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	
受業の進& 主意点 受業の原	属性・履(・イブラー <u>-</u> 画 1stQ	Fraction Fractio	科目は企業で大規模集積について講義形式で授業者(記する科目:電気回路) では、	回路(LSI)のプロテントのである。前年度履修)、前年度履修)、前年度履修)、前の元のでは、電気回いたで、電気回いたさらんと理解コナウイルス感	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事年法必るは週バる負負差演演き負こ演電電発発電で電でまた履基と急近て場局動算る帰と習力力振振力き力きとでででででのが要のが要のが要のが要のが要のがののがののがののがののがののがののがののの <t< td=""><td>意か、電子回りでは、 では、電子では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、</td><td>経 路 I I I I I I I I I I I I I</td><td>では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施で 施じ遠隔授業として実施で の特徴と等価回路を説明できる。 理が説明できる。 説明できる。 説明できる。 対策明できる。 対策明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。</td></t<>	意か、電子回りでは、 では、電子では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、	経 路 I I I I I I I I I I I I I	では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施で 施じ遠隔授業として実施で の特徴と等価回路を説明できる。 理が説明できる。 説明できる。 説明できる。 対策明できる。 対策明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。 が説明できる。	
受業の進め主意点受験である。受験では、受験では、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	属性・履信・イブラーコ 国 1stQ 2ndQ	F	科目は企業で大規模集積について開業で大規模集積にでは開業で式で回路 I I A J を学習するででであるがであるがであるがである。	回路(LSI)のプロテント (LSI)のプロテント (L	コセス開発に従い。電子回路 I (前電子回路 I (前路とその解析方しているごとが染症の拡大によ	事年 法必る 内 し度 が要緊 週バる負負差演演音負ご演電電発発電で電で表 製修 で で で で で で で で で で で が で の が の は で で <td>意か、電子回りでは、 では、電子では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、</td> <td>経 路 I I I I I I I I I I I I I</td> <td>では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施である。 一部では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できる。 できる。。</td>	意か、電子回りでは、 では、電子では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、	経 路 I I I I I I I I I I I I I	では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施である。 一部では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できる。 できる。。	
受業の進め主意点では、アクテーで、一般では、アクテーで、一般では、アクテーで、一般では、アクテーで、一般では、アクテーで、アクルで、アクテーで、アクテーで、アクルで、アクトで、アクトで、アクトで、アクトで、アクトで、アクトで、アクトで、アクト	属性・履信・イブラーコ 国 1stQ 2ndQ	F	科目は企業で大規模集積について開業でで大規模業者にでは、	回路(LSI)のプロテント (LSI)のプロテント (L	□セス開発に従い。電子回路 I (前路とその解析方とがあることが決定の拡大による。 遠隔授業が	事年法必るは週バる負負差演演き負こ演電電発発電で電でまた履基と急近て場局動算る帰と習力力振振力き力きとでででででのが要のが要のが要のが要のが要のがののがののがののがののがののがののがののの <t< td=""><td>意か、電子回りでは、 では、電子では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、</td><td>経 路 I I I I I I I I I I I I I</td><td>では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施である。 一部では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できる。 できる。。</td></t<>	意か、電子回りでは、 では、電子では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、	経 路 I I I I I I I I I I I I I	では、電子回路の特性や設 (当該年度後期履修) なるため、「基礎電気回路面接授業として実施である。 一部では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できる。 できる。。	

専門的能力	分野別の専 門工学	電気・電子 系分野	電子回路	演算増幅器の特性を説明できる。			4	前5,前6			
				演算増幅器を用いた基本的な回路の動作を説明できる。			4				
				発振回路の特性、動作原理を説明できる。			4				
評価割合											
		中間試験	中間試験		期末試験	課題	合計				
総合評価割合		40	40		60	0	100				
基礎的能力		20	20		30	0 50					
専門的能力		20	20		30	0	50				